

団体プロフィール

団体名	第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展	代表者名	久保田涼子
TEL	080-1916-8638	E-mail	tsuguten2017@gmail.com
WEB	http://tsuguten.com/	2016年の 実施報告書	http://kubotaryoko.com/report_2016.pdf
結成の時期	昭和 平成 (西暦 2015) 27 年 1 月		
結成の目的 活動方針	<p>「戦争を知らない世代が次の世代へ継承していく方法を探る」ことを目的に結成された団体です。</p> <p>30代が中心となり、青少年や親子連れに向けて平和活動や平和学習を行うきっかけの場所づくりを行っています。</p> <p>企画をつくる参加者と企画に参加する来場者が、能動的に戦争や平和について考え、未来に向けてのアクションを模索・発見・実施するための企画やイベントを展開しています。</p>		
活動内容 ・実績	<p><平成27年> 4月～8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 被爆者や伝承者へ取材・撮影を行い、英語へ翻訳。 <p>「広島を継ぐ人インタビュー」として、日英でWEBサイトを使い発信</p> <ul style="list-style-type: none"> とうろう流しアプリ開発・こどもたちへの自由研究ツール開発 <p>7月30日～8月6日 中野区で「第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展」を開催</p> <p>8月6日 平和公園内継ぐ展ブースで展示、とうろう流しアプリの投影を実施 中国新聞、朝日新聞、読売新聞など各種メディア掲載、広島FM、RCCラジオ出演</p> <p><平成28年> 4月～8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 被爆者や伝承者へ取材・撮影を行い、英語へ翻訳。「広島を継ぐ人インタビュー」として、日英でWEBサイトを使い発信 広島大学、修道大学、神奈川大学、関東学院大学、デジタルハリウッド STUDIO 受講生と共に企画や取材、展示物を作成（広島大学COCと共催して企画を行う） <p>8月3日～8日 横浜市みなとみらいで「第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展2016」を開催。</p> <p>助成：平成28年度みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業 公益財団法人 ヒロシマ平和創造基金 ヒロシマピースグラント 中国新聞、読売新聞、東京新聞、日本経済新聞など各種メディア掲載</p>		
年間の活動費	<p>総活動費用 (2016年度<予定>)</p> <p>約 (110 万円)</p>	<p>資金調達内訳 (2016年度<予定>)</p> <p>会費 約 (万円)</p> <p>寄付金・助成金 約 (100万円)</p> <p>その他(売上金) 約 (10 万円)</p>	
構成メンバー	<p>総人員 (2017 年 1 月 現在)</p> <p>(75 名)</p>	<p>内訳</p> <p>小学生 ()、中学生 (1)、高校生 (1)</p> <p>大学生 (19)、成人女性 (30)、成人男性 (24)</p>	

活動内容と企画内容

<活動目的>

戦後 70 年という節目を迎え、戦争体験者は少なくなり、継承といった次の世代への受け継ぎが課題となっています。しかし、若い世代の多くは受動的で、

継ぐ展は、30 代が中心となって創る企画展です。受動的だったことに気づいた世代が、もっと若い次の世代にどう継いでいくか、そして興味を持ってもらえるかを考えて制作をしています。

企画をつくる参加者と企画に参加する来場者が、能動的に戦争や平和について考え、未来に向けてのアクションを模索・発見・実施するための企画やイベントを展開しています。

<企画内容>

●第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展2017

日程 7月29日(土)～8月6日(日)の1週間 もしくは、8月5日(土)、6日(日)の2日間

場所 <本展会場>IID 世田谷ものづくり学校

<サテライト会場>2016年に本展を行ったみなとみらい(候補地:象の鼻テラス)
広島とうろう流し会場

<みなとみらいでの企画内容>

●ヒロシマの記憶を継ぐひとインタビュー展示

ヒロシマを語り継いでいる被爆者、伝承者、平和活動を行う若者などへインタビュー取材を行い、彼らの伝えようとしている想いを WEB や紙媒体、パネルにまとめます。

被爆者の語りは当時の姿とそこからヒロシマが歩んだ道のりを伝え、様々なかたちで活動する伝承者の語りは、現代を生きる私たちにより近い目線でヒロシマや平和についての想いを届けます。

今年は広島大学を含む全国の大学生有志を中心に、フィールドワークを交えた取材や文字起こしを行います。パネル制作はデジタルハリウッド STUDIO 受講生が行います。

●ヒロシマ原爆資料パネル展示

広島平和記念資料館から提供を受け、原爆投下された経緯や被爆の実相等をパネル展示します。

●原爆瓦の展示

広島大学研究員から提供を受け、広島市元安川から拾った原爆瓦の一部を展示します。

●あなたにもできる身近な平和へのアクション

20 案のピースアクションの中から、自分が出来そうなものを選び「折り鶴はんこ」をおしていく参加型のモニュメント。

●リアルトーク

被爆者を会場に招き、来場者の質問に応え体験を共有します。

一方的に経験や出来事を語る講演会の形式ではなく、少人数での対話を大切にすることで、知識だけではないヒロシマの記憶をコミュニケーションのなかで継いでいきます。

共催:広島大学COC 後援:広島市, 公益財団法人広島平和文化センター, 横浜市国際局, 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団, 広島ホームテレビ, テレビ新広島, 広島テレビ, エフエム東京, FM ヨコハマ, 広島エフエム放送, 中国放送, 中国新聞社

協賛:株式会社やまだ屋, オタフクソース株式会社, 株式会社ファンブ, 株式会社DMC 広島

協力:広島大学, 神奈川大学, 関東学院大学, デジタルハリウッド STUDIO, とうろう流し実行委員会